

## 「国語」学習指導案

1. 日時 令和6年9月24日（火） 第2時限（9：45～10：25）
2. 場所 中学部 教室
3. 学部・学年・組 中学部

4. 単元（題材）名 「動きを表す言葉を覚えよう」（国語）

### 5. 単元（題材）目標

動きを表す言葉を覚えよう

- ・イラストや写真などの提示物と動作語のマッチングを行おうとしている。（知識・技能）
- ・提示された動きを、正しい動作語で表現している。（思考力・判断力・表現力）
- ・提示された動作語を、実際に動作で表現しようとしている。（思考力・判断力・表現力）
- ・動作語を用いて、2～3語文で文を構成しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）

### 6. 生徒観

当学習グループの生徒の特別支援学習指導要領における学習段階は、小学部第3段階から中学部第2段階と幅広い段階の生徒が在籍しており、個々に応じて言葉かけが必要である。明るく素直な性格で、人の気持ちを思いやれる生徒たちが多い。また、授業では勉強に対しても前向きに取り組んでおり、積極的に楽しもうという意欲が見受けられることが多い。生徒の学習面については、書く力においては、全員が自分で鉛筆を握って筆記することができる。しかし、その中でもゆっくりとひらがなを一文字ずつ確認しながら書く生徒や、すらすらと書き進める生徒と、技能面は多様である。文字を読む力においても、ゆっくりのペースで教師が助言をするとスムーズに読める生徒や、助言なしでも流暢に読める生徒と様々である。話す力においても、認知力は高いがはっきりと話すことに課題のある生徒や、表現力が豊かであるがゆっくりとなら明瞭に話すことができる生徒と、多様性が見られる。

生徒たちの課題については、声に出して明瞭に発音したり、自身の考えを表現したりすることが挙げられる。次に、平仮名や片仮名、漢字で書かれた単語を見て、実際の物事をイメージして、言葉と事柄を一致させるということも目標にしたい。また、語彙力を豊かにし、文章の内容理解を図ることも課題として挙げたい。

本単元では、はじめに平仮名で書かれた動作語をイラストや写真とマッチングさせるという活動から行っている。概ねこの活動についてはできてきているが、助言が必要な場面も見受けられる。次に、提示された動きを動作語で表現する活動では、積極的に発表しようとする様子が見られる。動作語での主体となる対象、また客体となる対象とそれぞれの立場になって考えられるように指導していきたい。そして、提示された動作語を、身体を動かして動作で表現する活動では、どのような動きをすれば他者に伝わるのかを考えようとする様子が見られる。助言は必要であるが、積極的に課題に取り組む意欲が見受けられる。さらに発展して、動作語を用いて2～3語文の文章を構成できるように指導面で工夫していけるよう努めていきたい。

7. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① イラストや写真を見て、動作語とのマッチングを行おうとしている。 ② 動作とそれに対応する語句の知識を身につけている。	① 提示された動きを見て、正しい動作語を考えて明瞭な発音で伝えようとしている。 ② 提示された動作語を、実際に動作で表現しようとしている。	① 活動に対して積極的に取り組むことができる。 ② 友だちの発表を、興味を持って聞くことができる。 ③ 動作語を用いて、2～3語文の文章の作成に取り組もうとしている。

8. 単元の指導と評価の計画（全9時間、本時は第7時）

次	時	学習内容・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
第一次	1	・動きを表す言葉を学ぼう	・動きを表す言葉について、電子黒板やプリントを用いて説明する。 ・動作語から連想される身体の動きの手本を実際に提示するようにする。	A、C
	2	・提示物と動作語のマッチングをしてみよう	・動作語から連想される身体の動きの手本を実際に提示するようにする。 ・イラストと平仮名で書かれた動作語のマッチングのプリント学習を行うため、定規を用いて線を引くように言葉かけを行う。	A、B、C
第二次	3～4	・提示物と動作語のマッチングをしてみよう ・動作語を身体で表現してみよう	・イラストと平仮名で書かれた動作語のマッチングを行うため、定規を用いて線を引くように言葉かけを行う。 ・身体を動かして表現しやすいよう、みんなで練習してから発表を行うようにする。	A、B、C
	5～7	・提示物と動作語のマッチングをしてみよう ・動作語を、実際に身体を動かして表現してみよう ・動作を動作語で表現してみよう	・イラストまたは写真と平仮名で書かれた動作語のマッチングを行うようにする。 ・身体を動かして表現しやすいよう、みんなで練習してから発表を行うようにする。 ・動作の動画を見やすいように、電子黒板を利用するようにする。	A、B、C
第三次	8、9	・動作を動作語で表現してみよう ・動作語を、実際に身体を動かして表現してみよう ・動作語を用いて、2～3語文の文章を作ってみよう	・身体を動かして表現しやすいよう、複数の表現方法を促すように支援する。 ・動作の動画を見やすいように、電子黒板を利用するようにする。 ・「誰が何をしているか」に着目できるように言葉かけを行うようにする。	A、B、C

9. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・提示物と動作語のマッチングを行うことができる。
- ・動作語を理解し、その動作語を身体の動きで表現することができる。
- ・動作がなされている様子を見て、その動作を動作語で表現し、明瞭な声で落ち着いて発表することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・提示物を見て、動作語とのマッチングを行うことができている。
- ・動作語を理解し、その動作語を身体の動きで表現することができる。
- ・動作がなされている様子を見て、その動作を動作語で表現し、明瞭な声で落ち着いて発表することができる。

(3) 本時の ICT 活用のポイント (活用のねらい、工夫する点)

- ・動作が行われている場面を、本時までには動画で撮影している。その様子を電子黒板で写し、自身や友だちの身体の動きを見て、動作語を答えたり、動作語を交えて文章を作成できたりするように視覚的に支援を行うようにする。

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
5分 導 入	<ul style="list-style-type: none"><li>・あいさつをする。</li><li>・出席確認を行う。</li><li>・前時の振り返りをする。 (動作を動作語で答えたり、文を作成したりする。)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・当日の当番の生徒があいさつの号令と出席確認を行えるよう、言葉かけをする。</li><li>・本時の学習内容を説明し、授業の流れを知ることで見通しを持てるようにする。</li><li>・前時の振り返りをする。このとき、動作の動画を観て、動作語を交えた短文を作れるように言葉かけを行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・前を向いて、前時の振り返りをしようとしている。</li></ul>
25分 展 開	<ul style="list-style-type: none"><li>・提示物と動作語のマッチングのプリントに取り組む。</li><li>・答え合わせをする。</li> <li>・前時までに取り組んだ動作の続きから、身体を動かしてその動作を表現する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・イラストと平仮名で書かれた動作語のマッチングを行うため、定規を用いて線を引くように言葉かけを行う。T2も見守りを行う。答え合わせの際は、ゆっくりと明瞭に発表することを心掛けられるよう、言葉かけを行う。</li><li>・どの動作をしたいか、希望を募る。全員が動作の取り組みに参加できるように、言葉かけを行うようにする。動作を表現する発表と撮影の際は、基本的に一人ずつ行うようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・マッチングのプリントに取り組もうとしている。</li> <li>・自身がどの動作をしようか考えようとしている。どんな動作が適切か考えようとしている。</li></ul>
5分 ま と め	<ul style="list-style-type: none"><li>・本時の振り返りをする。</li><li>・次回の予告をする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本時に撮影した動作を動画で一人ずつ観賞して振り返りを行い、生徒が頑張った点を講評する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本時で行った内容を、前を向いて振り返ろうとしている。</li></ul>